

# 今までの経過及び今後の予定 《平成14年度》

↑ 今までの経過 ↓ 今後の予定

日程	項目	内容	実施主体
5月22日	合併問題研究プロジェクトチーム設置	千葉県及びちばぎん総合研究所の示す「結びつきパターン」に基づく基礎調査の実施	栄町
6月6日	議会合併研究会設置	議会議員による合併問題に関する研究会を発足	栄町議会
6月18日	市町村合併勉強会実施	千葉県市町村課職員による合併についての講演・ちばぎん総合研究所員による研究結果の報告	栄町議会
7月8日	市町村合併講演会	柏市議《上橋 泉氏》による「市町村合併の政治経済学」についての講演	栄町議会
7月26日	行政評価と市町村合併シンポジウム	市町村合併に伴うリスクを最小限にとどめるための行政評価導入及び先進事例報告《新潟県新発田市、三重県》＝議会議員及び町職員参加	民間団体
8月7日	上記シンポジウム参加報告会	議会議員及び町職員の参加者と全議員及び商工会職員を含めた報告会を実施	栄町議会
9月1日	広報さかえ「ドラムの手帳」市町村合併特集号発行	市町村合併が議論されている背景、国や県の動向及び支援策、町の取組状況、住民のかかり方などについて特集記事を広報に掲載	栄町
9月16日	市町村合併をともに考える全国リレーシンポジウム2002	市町村合併の先進事例《東京都西東京市》などを交えた、合併の必要性に関する講演及び国・県・自治体等によるパネルディスカッションを実施	総務省、千葉県、千葉県日報
10月5日～6日	学区別地区懇談会	5日＝酒直小学校区 6日＝北辺田小学校区	栄町 地区連絡協議会
10月11日	市町村合併を考える《II》の全戸配布	市町村合併基礎調査結果等について、市町村合併特集号を全戸に配布	栄町
10月中旬	住民意識調査（第1回）	市町村合併に関する住民の皆さんの意向を確認するため、18歳以上の住民の方の中から、2100人を無作為に抽出し意向調査を実施	栄町
10月18日	学区別地区懇談会	安食小学校区	栄町 地区連絡協議会
11月中旬	市町村合併を考える《III》	基礎調査結果の詳細（行財政・生活基盤・環境・産業編）及び、分析結果について特集号により配布	栄町
11月17日	学区別地区懇談会	竜角寺台小学校区	栄町 地区連絡協議会
11月23日	学区別地区懇談会	布鎌小学校区	栄町 地区連絡協議会
	栄町議会主催による（仮称）市町村合併をともに考えるシンポジウム	ふれあいプラザにおいて栄町議会主催による合併に関するシンポジウムを開催	主催：栄町議会 後援：栄町
11月30日	学区別地区懇談会	安食台小学校区	栄町 地区連絡協議会
12月中旬	市町村合併を考える《IV》	第1回住民意向調査の報告 基礎調査結果の詳細（教育・福祉編）及び、分析結果について特集号により配布	栄町
1月中旬	住民意識調査（第2回）	調査内容については、広報でお知らせいたします。	栄町

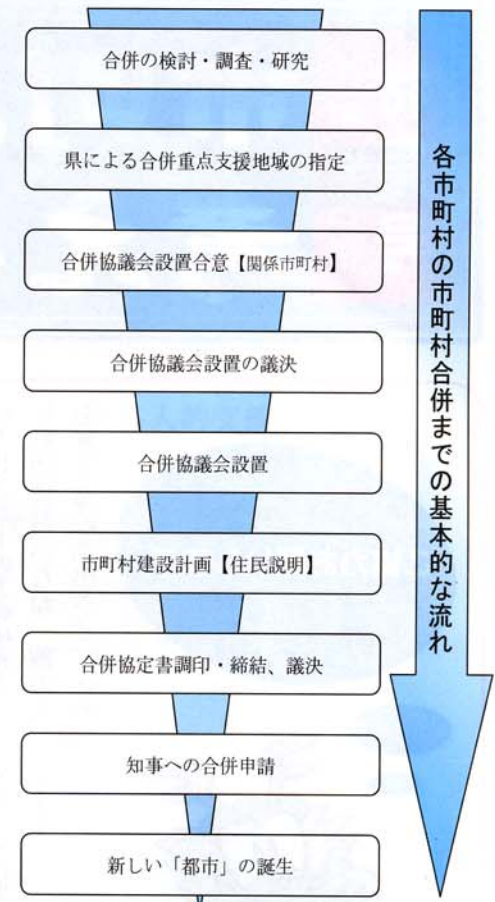
## 栄町の誕生まで(合併の変遷)

明治22年に安食村、北辺田村、龍角寺村、酒直村、矢口村、須賀村、麻生村の7村と安食ト杭新田の飛び地が合併し境村となり、同年に布鎌請方新田ほか15村が合併し布鎌村となりました。いわゆる明治の大合併により境村と布鎌村が誕生したのです。

また、明治25年には境村を安食町に改称しました。

その後、安食町は昭和29年に豊住村《現在の成田市》の一部《興津》を編入し、翌年の昭和30年12月1日に安食町と布鎌村が合併したことにより、栄町が誕生しました。いわゆる昭和の大合併です。

その翌年、昭和31年1月1日には茨城県稲敷郡河内村の一部を編入し、現在の栄町となったのです。



## 結びつきパターン



抜粋編

# 市町村合併基礎調査報告

## 行政部門

### 1.人口及び人口動態関係

(1)面積・人口（県パターン1）

項目 市町村	面積	人口の推移と年齢別人口						就業者の状況（就業先上位5市区町村等）								
		住基	H12国調	老年人口比率	生産年齢人口比率	年少人口比率	1位	2位	3位	4位	5位					
							H12	H12	H12	H12	H12					
栄町	3,246	25,707	25,475	14.1%	71.0%	14.9%	成田市	22.3%	東京都	16.9%	印西市	4.0%	千葉市	3.1%	柏市	2.5%
印西市	5,351	61,180	60,468	10.4%	68.9%	20.4%	東京都	28.2%	白井町	4.0%	船橋市	3.4%	成田市	2.8%	千葉市	2.7%
白井市	3,541	51,067	50,431	10.3%	73.0%	16.5%	東京都	32.1%	船橋市	6.8%	印西市	4.1%	鎌ヶ谷市	4.0%	松戸市	3.9%
印旛村	4,657	12,021	11,103	18.2%	68.0%	13.7%	東京都	10.7%	成田市	9.8%	佐倉市	8.4%	八千代市	5.1%	印西市	4.7%
本埜村	2,372	8,325	8,209	14.7%	63.4%	22.0%	東京都	21.4%	印西市	10.7%	成田市	7.7%	印旛村	3.3%	栄町	2.7%

[平成14年5月1日現在]

通学者の状況（通学先上位5市区町村等）									
1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12
成田市	18.1%	東京都	14.2%	我孫子市	10.8%	佐倉市	8.6%	酒々井町	4.6%
東京都	18.4%	船橋市	9.4%	白井町	6.4%	柏市	5.9%	八千代市	5.3%
東京都	25.8%	船橋市	13.5%	八千代市	4.5%	柏市	4.3%	習志野市	4.1%
八千代市	6.1%	東京都	5.7%	佐倉市	5.5%	千葉市	3.9%	成田市	3.6%
東京都	14.0%	我孫子市	9.8%	印西市	8.4%	白井町	7.3%	成田市	7.1%

(1)面積・人口（県パターン2）

項目 市町村	面積	人口の推移と年齢別人口						就業者の状況（就業先上位5市区町村等）								
		住基	H12国調	老年人口比率	生産年齢人口比率	年少人口比率	1位	2位	3位	4位	5位					
							H12	H12	H12	H12	H12					
栄町	3,246	25,707	25,475	14.1%	71.0%	14.9%	成田市	22.3%	東京都	16.9%	印西市	4.0%	千葉市	3.1%	柏市	2.5%
成田市	13,127	96,875	95,704	12.3%	72.1%	15.4%	東京都	5.7%	千葉市	4.7%	富里町	3.6%	佐倉市	1.2%	船橋市	1.2%
富里市	5,391	49,441	50,176	11.3%	73.1%	15.1%	成田市	26.0%	東京都	6.4%	千葉市	4.3%	佐倉市	3.4%	八街市	2.4%
下総町	3,200	8,168	8,115	21.0%	65.1%	13.9%	成田市	28.5%	千葉市	6.4%	千葉市	3.7%	茨城県	3.5%	佐原市	3.2%
神崎町	1,985	6,792	6,747	20.1%	64.5%	15.3%	成田市	17.5%	佐原市	8.4%	茨城県	7.1%	大栄町	4.5%	東京都	4.1%
大栄町	5,057	12,816	13,079	20.8%	64.4%	14.8%	成田市	20.2%	佐原市	4.9%	多古町	2.1%	千葉市	2.0%	富里町	1.8%
多古町	7,268	17,924	17,603	24.6%	60.9%	14.3%	成田市	15.1%	八日市場市	3.6%	芝山町	2.9%	大栄町	2.4%	千葉市	2.3%
芝山町	4,347	8,630	8,401	23.1%	62.0%	14.9%	成田市	14.9%	富里町	5.1%	多古町	3.0%	千葉市	2.3%	東京都	1.9%

[平成14年5月1日現在]

通学者の状況（通学先上位5市区町村等）									
1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12	H12
成田市	18.1%	東京都	14.2%	我孫子市	10.8%	佐倉市	8.6%	酒々井町	4.6%
東京都	12.7%	佐倉市	8.3%	千葉市	7.1%	四街道市	3.9%	富里町	3.7%
成田市	14.2%	東京都	11.4%	佐倉市	0.2%	千葉市	6.8%	八街市	5.5%
成田市	13.6%	佐原市	10.8%	千葉市	8.7%	東京都	6.2%	四街道市	5.3%
佐原市	22.2%	成田市	16.7%	千葉市	9.2%	東京都	8.1%	酒々井町	7.2%
成田市	14.2%	佐原市	12.4%	多古町	8.5%	千葉市	6.1%	富里町	4.0%
八日市場市	13.3%	成田市	7.4%	千葉市	5.6%	東京都	5.4%	佐原市	5.3%
多古町	13.5%	富里町	12.0%	成田市	8.8%	千葉市	8.8%	東京都	6.6%

※高齢人口比率………国勢調査人口に占める65歳以上の老人人口比率  
 ※生産年齢人口比率………国勢調査人口に占める15歳以上、65歳未満の青壮年人口比率（実際に働いているかどうかは問わない）  
 ※年少人口比率………国勢調査人口に占める15歳未満の幼年人口比率